



平成22年1月9日

各 位

会 社 名 株式会社 井 筒 屋
 代 表 者 名 代表取締役 中村 真人
 (コード番号8260 東証第1部 福証)
 問 合 せ 先 経 理 部 長 白 石 亮
 TEL(093)522-3414

平成22年2月期 通期(連結・個別)業績予想の修正および 特別損失の計上に関するお知らせ

平成21年10月2日に公表した平成22年2月期の通期(連結・個別)業績予想の修正および特別損失の計上
 に関しまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成22年2月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年3月1日 ~ 平成22年2月28日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	100,000	1,200	500	100	0円87銭
今回修正予想(B)	95,600	500	80	△ 3,000	△ 26円16銭
増減額(B-A)	△ 4,400	△ 700	△ 420	△ 3,100	△ 27円03銭
増減率	△ 4.4	△ 58.3	△ 84.0	—	—
(ご参考)前期実績 (平成21年2月期)	109,006	△ 184	△ 156	△ 4,888	△ 42円62銭

2. 平成22年2月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年3月1日 ~ 平成22年2月28日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	70,000	1,300	400	△ 400	△ 3円49銭
今回修正予想(B)	69,500	1,300	500	△ 1,500	△ 13円08銭
増減額(B-A)	△ 500	—	100	△ 1,100	△ 9円59銭
増減率	△ 0.7	—	25.0	—	—
(ご参考)前期実績 (平成21年2月期)	76,503	1,256	279	△ 4,846	△ 42円26銭

3. 特別損失の計上および業績予想の修正が生じた理由

(1) 株式会社コレット井筒屋の固定資産の減損損失発生による特別損失の計上について

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、当社連結子会社である株式会社コレット井筒屋の固定
 資産の収益性の低下により、投資額の回収が見込めなくなったため、当該資産グループの減損損失の
 計上を行うことといたしました。

これによる減損損失額15億41百万円を連結において特別損失に計上いたします。

(2)業績予想の修正理由

【連結】

連結の業績予想の修正につきましては、昨年から続く景況感の悪化により、依然として厳しい消費低迷が続いておりますが、当四半期に入りましてもデフレ状況の下、景気は二番底に陥ったといわれる大変厳しい状況となり、売上高は44億円、営業利益は7億円、経常利益は4億20百万円それぞれ前回発表予想を下回る見込みであります。

当期純利益につきましては、上記、減損損失の計上により特別損失15億41百万円を計上したこと、また今後の景気後退による子会社の将来予測損益を合理的に見積もった結果、回収可能性が確実と認められない部分につき、期末において、その額を保守的に計上することを見込んだこと等により、前回発表予想を31億円下回る見込みであります。

【個別】

個別の業績予想の修正につきましては、売上高は前回予想より5億円下回るものの、経費削減に努めること等により、経常利益は1億円前回予想を上回る見込みであります。

当期純利益については、今後の景気後退による子会社の将来予測損益を合理的に見積もった結果、回収可能性が確実と認められない部分につき、期末において、その額を保守的に計上することを見込んだこと等により、前回予想より11億円下回る見込みであります。

以上